

国際学術交流講演会

『室内の熱的快適性と適応』

このたび、Adaptive Comfort（適応的快適性）の概念の提示で世界的に知られる英国のハンフリーズ教授とニコル教授が来日される機会をとらえて、講演会を企画しました。

適応的快適性の考え方は、世界各地の膨大なフィールド調査のデータを統計的に要約して快適な室温が調査地の月平均外気温に依存することを明らかにした両教授の論文によって、1970年代に提示されました。そこでは熱的快適性とは、人と環境との熱交換だけでなく、人の環境への働きかけによっても決まる自律制御システムであると定義されています。その後、地球環境問題が顕在化するなかで「適応」を考慮した環境負荷の低い温熱環境設計に注目が集まり、ここ2～3年のあいだにASHRAEやCENの熱的快適性に関する基準が適応的快適性を導入してあいついで改訂されるに至り、欧米では実際の建築設計への適用がすでに始まっています。

講演会ではまずハンフリーズ教授に、適応的快適性の概念について解説していただきます。続いてニコル教授に、この概念が新しい基準にどう適用されたのか、快適性の定義はどう変わるのか、さらに、この概念が今後の建築設計にどのような影響を与える可能性があるのかについて、展望していただきます。講演は英語ですが、日本語版のスライドを準備して内容を判りやすく理解できるようにしています。質疑応答は通訳も可能です。また、本講演会用にと特別に両教授に書き下ろしていただいた資料も配付します。室内環境設計に関わる研究者や実務家、学生など、多数のご来場をお待ちしています。なお、当日懇親会を開きますので、国際交流のため是非ご参加ください。

記

主催： 空気調和・衛生工学会近畿支部 国際交流委員会

協賛： 日本建築学会近畿支部 環境工学部会（予定）

講師： マイケル・ハンフリーズ 教授（オックスフォード・ブルックス大学）

ファergus・ニコル教授（オックスフォード・ブルックス大学、ロンドン・メトロポリタン大学）

日時： 平成20年10月17日（金） 16:00～18:00 （18:00以降 懇親会）

場所： 京都キャンパスプラザ（京都駅前） <http://www.consortium.or.jp/>

定員： 90名（申し込み先着順で定員になり次第締め切り）

参加費： 無料

講演言語： 英語（日本語版のスライド有り、質疑応答は通訳可能）

懇親会費： 一般5,000円（学生3,000円）

申込方法： ホームページ上の申込フォームからお申し込み下さい。

（申し込みはホームページのみとさせていただきますので、ご注意下さい。）

連絡先： 空気調和・衛生工学会近畿支部

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC/ITM棟11F インター・セッション6号室

E-mail: office@kinki-shasej.org